

「令和元年度ふくしま『学びのスタンダード』推進事業」推進地域の取組

パイロット校名 郡山市立大槻中学校・大槻小学校

ふくしまの「授業スタンダード」「家庭学習スタンダード」を活用した実践

1 推進地域における「授業スタンダード」の活用について

【大槻小】

(1) 「授業スタンダード」との関連を図った授業実践

共同研究の研究テーマを「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の創造 ～ふくしまの「授業スタンダード」の実践を通して～」とし、「授業スタンダード」を活用した授業改善に全職員で取り組んだ。

〈重点実践事項〉

導入：本質的な課題追究をめざした教材との出合わせ方（視点1）

展開：自分の考えを広げ、深めるための言語活動の在り方（視点2）

終末：友達との対話や学び合いから、自己の変容に気付かせるための振り返りのさせ方（視点3）

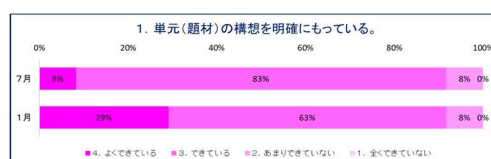


単元指導計画や学習過程に「授業スタンダード」を基にした視点などを位置付けた。

学習活動・内容	時間	授業の視点・記述	指導上の留意点	評価（方法）	
2 課題を解決する。 (1) 見直しをもつ。 ・表に表す ・式に表す (2) 自力解決をする。 ① 表に表し気づいたことを書き込む ・表を縦に見た場合 ・表を横に見た場合 ② 式に表す。 ・ $20 \times 4 = 80$ (口 $4 = 0$) ・ $4 + 4 + 4 + \dots + 4 = 80$ (口 $4 + 4 = 0$) ・ $4 \times 0 = 0$ (3) 全体で話し合う。 ・表から見つけたきまり ・きまりをもとにした式	10	○ 既習内容が生かせるかどうか考えさせる。 ○ 表を横に見ると、1段増えれば周りの長さが4cmずつ増える。縦に見ると段数に4をかければ周りの長さを求められることに気づかせる。 ○ 活動が進まない児童に対しては、表に矢印をつけ、増え方に着目するよう助言する。 ○ 何段になっても周りの長さを求められる式になるよう本時のめあてをもう1度確認させる。 ・表からの読み取りをもとに変わる数を□や○を用いて式を書く		「事実」「方法」「理由」の記述	
	20	○ 式に表すことができた児童は近くの友達と交流し、伝え合うことで考えを広めさせる。 ○ 問題からの読み取った考えを元に解決の見通しをもつて考える。きまりを見いだしたり、式に表したりすることができるようになる。【視点2】		本校の研究構想に合わせて視点を設定	
時間 ねらい テーマにせまるための視点 見方・考え方 資質・能力 評価項目・観点等について					
1	伴って変わる2つの数量の関係（和が一定）を表にしたり□や○を用いて式に表したりすることが出来る。	○ 時計ばんを使って、表と裏から見た針が、時刻が進むにつれてどう変わっていくか、問題意識を高めていく。【視点1】	○ 伴って変わる時計の裏と表の数量の変化の特徴を考察すること ○ 伴って変わる2つの数量の関係について、時計の裏を用いて調べることでよさに気づく力	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	問題発見・解決過程との関連
2	伴って変わる2つの数量の関係（和が一定）を表にしたり□や○を用いて式に表したりすることが出来る。	○ 表と裏から見た針が、時刻が進むにつれて変化（す）る数の関係を、少数で話し合う。【視点2】	○ 時計ばんの裏と表の数量の関係に着目して、2つの関係を比べること ○ 変量を表す記号をして、□や○をどうして式に表すか	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	「見方・考え方」「資質・能力」

(2) 「チェックシート」の活用

研究授業後だけでなく、毎月末に「チェックシート」を活用した振り返りを行い、改善点を翌月に生かせるようにした。7月と1月に調査した結果、全ての設問において評価が向上しており、「授業スタンダード」を意識した授業が日常的に行われるようになってきていることを確認することができた。



【大槻中】

(1) すべての教科で、「授業スタンダード」を拠り所として授業を行った。また、「教師のタテ持ちを意識した学年教科配当」「TT」「習熟度別学習」「互見授業」の実施により、「授業スタンダード」に基づいた授業づくりについて教職員が話し合う機会を増やし、指導力の向上を図った。

2 パイロット校の取組内容

【大槻小】

(1) 高学年における「教科担任制」の取組について

今年度は、確かな学力の向上を目指すため、「国語科・算数科」で教科担任制による授

業を実施した。

～教科担任制の実際～

第5学年	国語科	算数科	理科
5の1	5の1担任	5の2担任	教務主任
5の2			

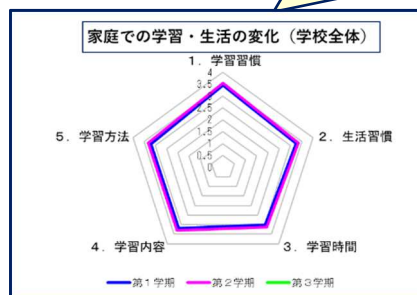
第6学年	国語科	算数科	理科
6の1	6の1担任	6の1担任	推進教師
6の2	6の2担任	6の3担任	
6の3			

(2) 「家庭学習スタンダード」との関連を図った実践

① 学級活動の時間を活用した自己マネジメント力の育成



学級活動の時間を活用



② 「家庭学習パワーアップ週間」の位置付け



- 「家庭学習パワーアップ週間」カードに、学習開始時刻・学習時間の他に読書時間も記入させ、読書をする習慣を家庭でも身に付けさせようと考えた。
- 家庭学習への意欲が持続するように1週間に限定した。
- 第1学期に1回、第2学期に2回、第3学期に1回実施した。

- 反省点が次の「家庭学習パワーアップ週間」に生かせるように配慮した。
- 「家庭学習パワーアップ週間」を実施した後に「家庭での学習・生活チェックシート」での自己診断を行った。

【大観中】

(1) 「タテ持ち」の取組について

- 国語科，社会科，数学科，英語科で実践した。

(2) TTについて

- 国語科… 授業の内容によってT1，T2を入れ替えて授業を進めた。
- 英語科… 指導者間で毎週の時間割を共有し，学習の内容によっては他のクラスに入るなど，柔軟に対応できるようにした。演習問題の時間やまとめの時間には習熟の程度に応じた問題を作成し，指導を行った。
- 数学科… 2年生で実施（週1回）した。複数の教師により解き方を説明でき，いろいろな解き方があることを生徒に気付かせることができた。

TTの時間割

T1	3-4 国語	1-2 国語	1-4 国語
T2	3-4 3-3	1-2 1-4	1-4 1-1

(3) 数学科における「習熟度別学習」の取組について

学年の実態を考慮し，今年度は1・3年で習熟度別学習を実施した。クラス分けについては，数と式，関数，図形の3領域で編成を変えて実施した。コース変更については，担当教師2人と本人とで相談をして実施した。

	1組	2組	3組	4組
1年	Iコース	A教諭	Iコース	A教諭
	IIコース	C教諭	IIコース	C教諭
	IIIコース	D教諭	IIIコース	D教諭
2年	B教諭 (CT ₂)	A教諭 (CT ₂)	B教諭 (CT ₂)	A教諭 (CT ₂)
3年	Iコース	B教諭	Iコース	B教諭
	IIコース	C教諭	IIコース	C教諭
	IIIコース	D教諭	IIIコース	D教諭

(4) 「学習のカルテ」の活用について

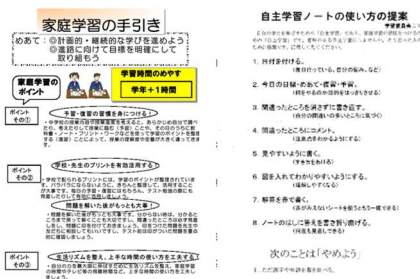
数学科では、「ノートを取り方」「教科書の活用の仕方」「1年から3年までの学習内容のつながり」「シラバス」「自己評価」を合せた、「学習のカルテ」を作成し全学年に配布して活用した。



(5) 「家庭学習スタンダード」について

小学校と連携し、家庭学習の手引きを作成した。教科別の学習の進め方、家庭学習の内容やノートの使い方の提案、家庭学習の際にやめてほしいことを掲載し、家庭学習の改善を図った。

家庭での習慣化を図るために、家庭学習の記録も全学年で行った。時間だけではなく、「予習・復習・宿題」に印をつけさせることで、内容も意識できるようにした。



3 3年間の取組から見えた成果と課題

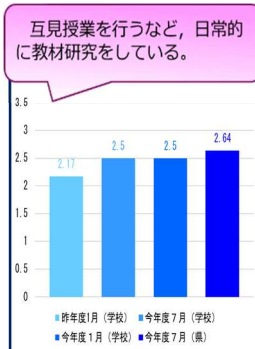
【大槻小】

(1) 成果

- 「パイロット校」の指定を受けてから、全国学力・学習状況調査や標準学力検査（NRT）の結果が向上した。指導の成果により、国語科・算数科ともに学力が身に付いてきている。
- 「家庭学習スタンダード」を拠り所として、学校と家庭が協力して家庭学習の充実に取り組む体制を整えることができた。

(2) 課題

- ・ 「思考力・表現力・判断力」のさらなる育成に向けて、引き続き「授業スタンダード」を基にした授業改善を継続する必要がある。
- ・ 互見授業の実施方法を検討し、さらに活性化させる必要がある。



【大槻中】

(1) 成果

- 「タテ持ち」の実施により、教材の理解や指導法、学習活動の工夫など教科担任同士の指導に関する協議等が多くなり、教師の学習指導に対する一体感を強めることができた。また、教師が1年から3年の単元のつながりを意識して授業を行うことができた。
- TTにより、一人では目の届かないところまで生徒の様子を観察できるようになり、個人へのサポートが手厚くなった。また、授業進度の著しい遅れがなくなった。
- 習熟度別学習により、問題の難易度や授業の進め方を生徒のレベルに合わせる事ができた。

(2) 課題

- ・ TTとしての教師の具体的な動きについて、相談したり確認したりする時間がなかなかとれなかった。教師同士が指導法の共通と理解を深めるためには、時間の確保が必要である。また、話し合いのまとめ役になるリーダーも必要となる。
- ・ 「タテ持ち」の実施により、横のつながり（授業を担当していないクラスの生徒とのつながりなど）が薄くなってしまいう可能性がある。
- ・ 家庭学習等について保護者の理解と協力を求めるにはどのような方法があるのか、さらに検討していく必要がある。

数学

学習のカルテ

年 組 番氏名

学習カルテ（正負の数）

	チェック項目	達成度				
①	負の数の意味や、正負の数の大小関係を理解することができましたか。	10	30	50	70	90
②	絶対値の意味を理解することができましたか。	10	30	50	70	90
③	正負の数の加法・減法の計算ができましたか。	10	30	50	70	90
④	正負の数の乗法・除法の計算ができましたか。	10	30	50	70	90
⑤	累乗の指数を使って表された数の計算ができましたか。	10	30	50	70	90
⑥	正負の数の四則の混じった計算ができましたか。	10	30	50	70	90
⑦	正負の数を利用して、日常の身近な問題を解くことができましたか。	10	30	50	70	90
⑧	この単元で学習した内容が、日常生活で使われている例を見つけることができましたか。	10	30	50	70	90

学習の感想

自主学習ノートの使い方の提案

学習委員会より

自分の学力を伸ばすための「自主学習」であり、家庭学習の習慣をつけるための「自主学習」です。意味のある自主学習にしませんか。そう思った人のために提案です。活用して見てください。

1. 日付を付ける。
(毎日行っている。自分の励み。など)
2. 今日の目標・めあて・復習・予習。
(何をやるのか目的をはっきりさせる)
3. 間違ったところを消さずに書き直す。
(自分の間違いの多いところに気づく)
4. 間違ったところにコメント。
(注意点をわかるようにする)
5. 見やすいように書く。
(すきまをあける)
6. 図を入れてわかりやすいようにする。
(理解しやすくなる)
7. 解答を赤で書く。
(赤がみえないシートを使うともう一度できる)
8. ノートのはしに答えを書き折り曲げる。
(何度も見直しできる)

次のことは「やめよう」

- I. ただ漢字や単語を書き並べる。
- II. 自分で見たいと思えないノートにしない。

家庭学習 月間チャレンジ大槻 (5) 月

年 組 番 氏名

家庭学習を始める時刻(平日)	夜寝る時刻	朝起きる時刻
----------------	-------	--------

がんばること

がまんすること

		1日(水)				2日(木)				3日(金)				4日(土)							
		宿・復・予				宿・復・予				宿・復・予				宿・復・予							
/		/				/				/				/							
5/1 ~ 5/4		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
5日(日)	6日(月)	7日(火)				8日(水)				9日(木)				10日(金)				11日(土)			
宿・復・予		宿・復・予				宿・復・予				宿・復・予				宿・復・予				宿・復・予			
/		/				/				/				/				/			
5/5 ~ 5/11		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
12日(日)	13日(月)	14日(火)				15日(水)				16日(木)				17日(金)				18日(土)			
宿・復・予		宿・復・予				宿・復・予				宿・復・予				宿・復・予				宿・復・予			
/		/				/				/				/				/			
5/12 ~ 5/18		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
19日(日)	20日(月)	21日(火)				22日(水)				23日(木)				24日(金)				25日(土)			
宿・復・予		宿・復・予				宿・復・予				宿・復・予				宿・復・予				宿・復・予			
/		/				/				/				/				/			
5/19 ~ 5/25		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
26日(日)	27日(水)	28日(火)				29日(水)				30日(木)				31日(金)							
宿・復・予		宿・復・予				宿・復・予				宿・復・予				宿・復・予							
/		/				/				/				/				/			
5/26 ~ 5/31		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
合計学習時間		時間								保護者確認印											

家庭での学習・生活チェックシート

年	組	番	名前
---	---	---	----

このシートは、自分の家庭学習をよくするために、家庭での学習や生活の様子をふり返るものです。それぞれの項目の4～10の数字の当てはまるところに、1つずつ○をつけましょう。学校の成せきとは関係ありませんから、ありのままを教えてください。

4:とてもあてはまる 3:少しあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

【チェックの色】 1回目・・・黒 2回目・・・青 3回目・・・赤

【合計点数】 A・・・12～10点 B・・・9～5点 C・・・4～3点

1 学習習慣

①自分から進んで家庭学習（宿題＋自主学习）をしています。	4—3—2—1
②家では、学習する場所を決めています。	4—3—2—1
③「10分×学年＋10分」をめやすに学習しています。	4—3—2—1

1回目(黒)	A	B	C
--------	---	---	---

2回目(青)	A	B	C
--------	---	---	---

3回目(赤)	A	B	C
--------	---	---	---

2 生活習慣

①毎日、早ね早起きをしてすいみんをしっかりとしています。	4—3—2—1
②一日にテレビを見る時間やゲームやメールをする時間を決めています。	4—3—2—1
③毎日、ほぼ同じ時こくに朝ご飯、晩ご飯を食べています。	4—3—2—1

1回目(黒)	A	B	C
--------	---	---	---

2回目(青)	A	B	C
--------	---	---	---

3回目(赤)	A	B	C
--------	---	---	---

3 学習時間

①決まった時こくに学習を始めています。	4—3—2—1
②学校が休みの日の学習時間をおおよそ決めています。	4—3—2—1
③音楽をきいたりテレビを見たりせずに、集中して学習しています。	4—3—2—1

1回目(黒)	A	B	C
--------	---	---	---

2回目(青)	A	B	C
--------	---	---	---

3回目(赤)	A	B	C
--------	---	---	---

4 学習内容

①いくつかの教科をバランスよく学習しています。	4—3—2—1
②むずかしい問題や課題、苦手な教科にも、がんばって取り組んでいます。	4—3—2—1
③進んで読書をしています。（1ヶ月3冊以上）	4—3—2—1

1回目(黒)	A	B	C
--------	---	---	---

2回目(青)	A	B	C
--------	---	---	---

3回目(赤)	A	B	C
--------	---	---	---

5 学習方法

①家庭学習のめあてを立てて、積極的に取り組んでいます。	4-3-2-1
②分からないところは、家の人や先生や友だちに聞いたり、辞書やパソコンで調べたりします。	4-3-2-1
③自分の家庭学習の仕方を振り返って、工夫しています。	4-3-2-1

1回目(黒) A B C

2回目(青) A B C

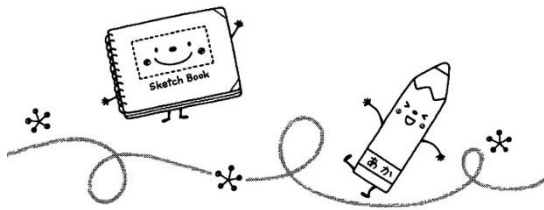
3回目(赤) A B C

1回目(黒)の振り返り

気づいたこと
これからがんばりたいこと

2回目(青)の振り返り

気づいたこと
これからがんばりたいこと

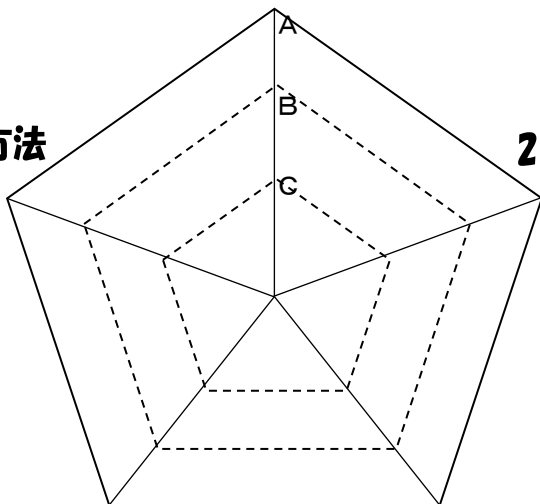


家庭での学習・生活の変化

1 学習習慣

5 学習方法

2 生活習慣

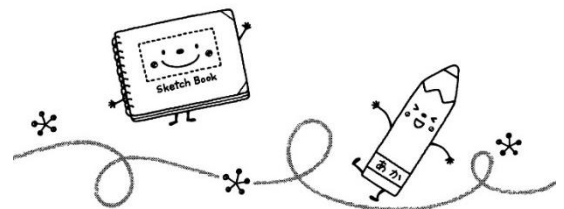


4 学習内容

3 学習時間

3回目(赤)の振り返り

気づいたこと
これからがんばりたいこと



家庭学習パワーアップ週間カード

11月19日(火) ~ 11月25日(月)

《家庭学習のめあて》 年 組 名前()

- ①
- ②
- ③

《家庭学習時間》 取り組んだ時間分だけ色をぬります。

		記入例	11/19 (火)	11/20 (水)	11/21 (木)	11/22 (金)	土・日 の時間	11/23 (土)	11/24 (日)	11/25 (月)
<div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 宿題↓赤 読書↓えんぴつ 自主学習↓青 </div>	16:00	赤								
	17:00	青								
	18:00									
	19:00	えんぴつ								
	20:00									
	21:00									
	22:00									
おやすみ～ ねている間にきおく力がアッパするんだよ～										
学習時間	70分	分	分	分	分		分	分	分	
読書時間	30分	分	分	分	分		分	分	分	
自主学習の教科	国・算									
めあてが守れましたか	◎									
おうちの人のしるし	西島									

※ ふり返りのしるし ◎3つ守れた ○2つ守れた △1つ守れた

《1週間の家庭での学習・生活をふり返って》 ※25日(月)に書きます。

《おうちの人から》 ※25日(月)に、コメントを書いてもらいましょう。

毎日おうちの人に見せて、サインをもらいましょう。26日(火)学校に持っていき、先生に出します。



「家庭学習」とは、 「宿題」と「自主学習」を合わせた学習です。

「宿題」とは・・・

学校から学習内容を指定されて出されるものです。宿題には、「ここを重点的に学習してほしい」「来週テストをするから復習してほしい」という先生の願いや思いがあります。家庭でもくり返すことでわすれにくくなり、しっかりと身につけることができます。かならず、取り組みましょう！

「自主学習」とは・・・

「今、自分には何がひつようか」を考え、何をやるか自分で決めて取り組む学習です。「授業で習ったけれど、分からないところがあった」「授業できょう味（ぎ間）をもったから、もっとくわしく調べたい」など自分で内ようを決められるので、考える力が身につきます。自分の今の力をのばす学習をしましょう！

「宿題」と「自主学習」を毎日取り組むことによって、学習がしっかりと身につく、自分の力をのばすことができます。けいぞくは力ない！

家庭学習をするときは

- ①決まった時こくに！
- ②学習する場所はきれいに！
（よけいなものはおかない）
- ③しせいをよくして！
- ④集中して！
（「ながら」はダメ）
- ⑤学習用具をそろえて！
（教科書・筆記用具・辞書など）
- ⑥字はていねいに！
（見直しがしやすい）

家庭学習が終わったら

- ①宿題と自主学習の見直しを！
（まちがいは直す）
（分からない問題は調べる・聞く）
- ②宿題と自主学習をランドセルに！
- ③時間わりをそろえて！
- ④えん筆をけずって！
- ⑤持ち物をたしかめて！



自主学習のやり方

3・4年

- ① **日づけを書く。**
→ 「いつ」「どれくらいやったのか」がわかり、前にやったことがふり返りやすくなります。
- ② **「めあて」を書く。**
→ これからやることに対して、目ひょうを達成しようとする意しきがはっきりします。
- ③ **教科書のページや問題の番号を書く。**
→ どこまでやったのか、どこをまちがえたのかが、一目見ただけですぐに分かります。
- ④ **さあ、自主学習にチャレンジ!**
→ 下に書かれている内ようをさんこうにしてみましょう。
- ⑤ **答え合わせをする。**
- ⑥ **まちがいを直す。**
→ 分からないことをそのままにせず、苦手なところをなくしていくことを習かんにします。
- ⑦ **ふり返いを書く。**
→ できたこと、できなかったこと、自分自身の取り組みをふり返ることで、次の目ひょうが見えてきます。
- ⑧ **家の人に見せます。**

こんな内ようオススメ!

- 授業で書いたノートをもう一度写して書く。
- 教科書を読んで大事だと思ったところを書く。
(色ペンなどを使って分かりやすく)
- プリントやテスト、授業でまちがえた問題をもう一度やる。
- ドリルの問題をもう一度やる。
- 授業で解いた問題を、その日のうちにもう一度とく。
- 本を読んで、あらすじや感想を書く。
- 今学習している漢字、以前に学習した漢字の練習をする。
- 教科書の内容以外でも「おもしろそうだな。」「不思議だな。」と思ったことを、本やインターネットで調べて分かったことを書く。



～学習時間～

1年	20分	2年	30分	3年	40分
4年	50分	5年	60分	6年	70分



「家庭学習」とは、 「宿題」と「自主学習」を合わせた学習です。

「宿題」とは・・・

学校から学習内容を指定されて出されるものです。宿題には、「ここを重点的に学習してほしい」「来週テストをするから復習してほしい」という先生の願いや思いがあります。家庭でもくり返すことで忘れにくくなり、しっかりと身に付けることができます。必ず、取り組ませてください。

「自主学習」とは・・・

「今、自分には何が必要か」を考え、何をやるか自分で決めて、自分で取り組む学習です。「授業で習ったけれど、理解できないところがあった」「授業で興味（疑問）をもったから、もっとくわしく調べたい」など自分で内容を決められるので、考える力が身に付きます。

家族で協力して、お子さんが学習しやすい環境を整えてあげてください。学習に集中できる雰囲気を作ることが大切です。

家庭学習をするときは

- ①決まった時刻に！
- ②学習する場所はきれいに！
(余計なものは置かない)
- ③姿勢をよくして！
- ④集中して！
(「ながら」はダメ)
- ⑤学習用具をそろえて！
(教科書・筆記用具・辞書など)
- ⑥字はていねいに！
(見直しがしやすい)

家庭学習が終わったら

- ①宿題と自主学習の見直しを！
(まちがいは直す)
(分からない問題は調べる・聞く)
- ②宿題と自主学習をランドセルに！
- ③時間割をそろえて！
- ④えん筆をけずって！
- ⑤持ち物を確かめて！



自主学習のやり方

保護者用

① 日づけを書く。

→ 「いつ」「どれくらいやったのか」がわかり、前にやったことが振り返りやすくなります。

② 「めあて」を書く。

→ これからやることに対して、目的意識が明確に。

③ 教科書のページや問題の番号を書く。

→ どこまでやったのか、どこを間違えたのかが一目瞭然。

④ さあ、自主学習にチャレンジ！

⑤ 答え合わせをする。

⑥ 間違いを直す。

→ 分からないことをそのままにせず、弱点を克服することを習慣にします。

⑦ ふり返いを書く。

→ できたこと、できなかったこと、自分自身の取り組みを振り返ることで、次の目標が見えてきます。

⑧ 家の人に見せます。

学習時間	
1年	20分
2年	30分
3年	40分
4年	50分
5年	60分
6年	70分

保護者のみなさまへお願い

「自主学習」は、自分で考えて学習する楽しさを身につけます。お子さんの自主学習ノートを確認し、良い点・がんばっている点など、具体的なコメントを記入してください。保護者が積極的に関わることは、お子さんに良い刺激を与えるきっかけになります。コメントが記入されていると、ノートを開くのがうれしくなるはずです。ご協力よろしく申し上げます。

こんなほげまし・ほめ言葉を！

～低学年～

- ☆ さいごまで、ていねいな字でかけているね。
- ☆ しゅう中してできたね。すごいぞ！
- ☆ ノートいっぱいがんばりました。 など

～中学年～

- ☆ 見直しをしたから、まちがいに気づけたね。見直しは大切だね。
- ☆ 大事なところを赤で書いていて、分かりやすいね。
- ☆ 苦手なかん字をじぶんかられんしゅうできてすごい！ など

～高学年～

- ☆ 国語と算数、バランスよく学習できていますね。この調子です。
- ☆ グラフや図もあって、工夫されていますね。
- ☆ 最近、内容がとてもよくなってきましたね。 など

